

つなげてみませんか……
光の架け橋

HYOGO

EYE
BANK

公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クラリヒト

おかげさまで30周年


28

2024年度

クラーリヒト

目 次

1	ごあいさつ	
	公益財団法人兵庫アイバンク理事長	片上千加子 …… 1
	ライオンズクラブ国際協会335-A地区ガバナー	永田 雅章 …… 2
	ライオンズクラブ国際協会335-D地区ガバナー	今市 明弘 …… 3
	兵庫県眼科医会会長	古川 清実 …… 4
2	角膜移植とは ……	5
3	兵庫県臓器移植コーディネーターの役割と連携	
	兵庫県臓器移植コーディネーター	今村 友紀 …… 8
4	緑内障手術における提供強膜の使用について	
	神戸大学医学部附属病院 眼科 助教	坂本 麻里 …… 10
5	事務局だより ……	12
6	2023年度 事業報告	
	2023年度 統計 ……	13
	献眼者 ……	13
	啓発活動・講演会・講習会・学会発表 ……	13
7	賛助会員について ……	17
8	2023年度 寄附者 ……	18
9	登録について ……	21
10	兵庫アイバンク顧問・理事・評議員 ……	23





患者様、献眼者様の 思いをつないで

公益財団法人兵庫アイバンク 理事長

片上 千加子

平成6年に設立された兵庫アイバンクは今年で30周年を迎えました。近畿圏のアイバンクとしては最も遅い設立となりましたが、あっという間に月日が流れたように感じます。設立当初より現在も思いは変わらず、「眼球提供をしてもよいと思われる方の意思を汲む」ということを実現できるよう努めることが肝要であります。そのため、西日本で初めての専従アイバンクコーディネーターを2000年より設置し、現在も更なる高みになるよう継続しています。つきましては、兵庫県、神戸市、ライオンズクラブ335-A地区、335-D地区、兵庫県眼科医会、神戸大学、兵庫医科大学等多くの方々のご協力を賜り心より感謝申し上げます。眼球をご提供下さいましたご本人、ご遺族の方の思いを尊重し、感謝申し上げながら、医師として患者様の手術を施行させていただき、視力を回復された患者様の笑顔を拝見するのは、大きな喜びです。視覚障害者様と献眼者様の思いをつなぐ温かいアイバンクを目標に、精力的に活動下さるコーディネーターともども、副理事長、常務理事はじめ役員の方々的心を一つにして活動を続けていきたいと考えております。皆様のご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。





ライオンズクラブ国際協会 335-A地区より

ライオンズクラブ国際協会335-A地区
地区ガバナー L.永田 雅章

ライオンズクラブ国際協会は、メルビン・ジョーンズにより1917年アメリカ・シカゴで誕生し、現在世界200余の国に137万人の会員を有する世界的な奉仕団体です。335-A地区は兵庫県東部を活動地域にしており、61クラブ1,577名の会員が所属しております。

1925年の国際大会において、ヘレン・ケラー女史が「ライオンズよ、盲人のために暗闇と闘う騎士になって下さい」と会員に訴えました。それ以来ライオンズクラブは、河川盲目症撲滅キャンペーン、白杖の発案など視覚障がい者支援に力を注いで参りました。角膜移植により失明された方の視力を取り戻せることは本当に素晴らしいことです。今後も継続して献眼登録の呼びかけに尽力していきたいと思っております。





ライオンズクラブ国際協会335-D地区
地区ガバナー L.今市 明弘

ライオンズクラブは、地域社会への奉仕活動を通じて視力保護を重視してきました。アイバンクの設立も視力回復に寄与する一環として、ライオンズの理念に合致しています。両者の共通する目的は「視力の保持と回復」です。ライオンズクラブはアイバンクを支援することで視覚障害者の生活の質の向上に貢献しています。

335-D地区では、会員一人当たりの金額を決定し拠出金として協力体制をとっています。また、募金イベントを実施し、その収益をアイバンクの運営や研究に寄付しています。地区の啓発セミナーやキャンペーンを企画して、アイバンクの重要性を広め、ドナー登録を促進し、イベントやワークショップでボランティアを通じてアイバンクの活動を紹介し、メンバーや地域の人々に参加を呼びかけています。

ライオンズクラブの活動により、アイバンクへの理解と支援が広がり、視覚に関する医療サービスの向上や視力を失った人々への支援が実現します。これらの取り組みを通じて、ライオンズクラブとアイバンクは、地域社会における視力保護の重要性をさらに高めていくことが期待されると思います。335-D地区は、今までと同様、アイバンクに応援と支援をしていきます。





兵庫アイバンクの 理事を拝命して

兵庫県眼科医会 会長

古川 清実

兵庫県眼科医会の会長を務めております 古川清実 と申します。

角膜は目の構造上真っ先に光が到達する部位です。その入り口となっている処の障害のために視力を失っている方が大勢いらっしゃいます。角膜疾患にあらゆる薬物治療などを尽くしても視力が回復できないときに角膜移植が行われます。そのためにはドナーの方、及びその御遺族の崇高な御意志によりはじめて施行されえるものです。

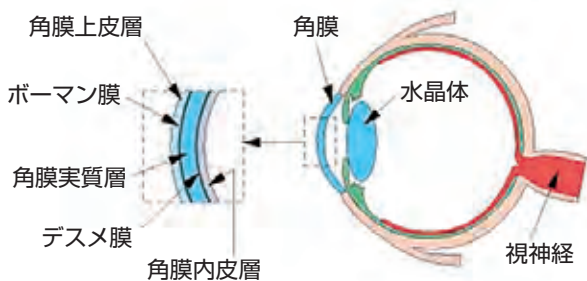
兵庫アイバンクはそのような患者様とドナー、御遺族の円滑なマッチングをアシストしている重要な機関です。兵庫県眼科医会は眼科専門医の立場からし少しでもそのお役にたてれば幸甚に存じます。



角膜移植とは？

角膜の働き

角膜は透明な5層構造の膜であり、眼球に光を取り入れる入口としての役割と水晶体とともにピント調節をする役割を持っています。病気やけがにより角膜が濁ってしまい角膜本来の透明性を失ってしまうと眼の中に光を取り入れることが出来なくなってしまいます。このような場合に角膜移植が必要となります。



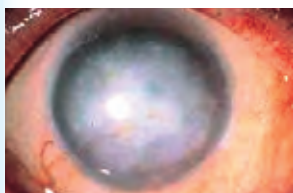
適応疾患

水疱性角膜症



角膜の裏側には内皮細胞という角膜の水分を汲みだすポンプの役目をする細胞層がありますが、この細胞の機能が低下すると角膜は水ぶくれ状態になりすりガラスのように濁ってしまいます。この状態を水疱性角膜症といいます。加齢でも起こりますが、眼の手術（白内障・緑内障手術など）により起こる事もあります。

角膜白斑



幼少期にはしかやトラコーマなどで炎症が起こり、角膜が濁ってしまった場合、または、角膜ヘルペスの治療後に混濁が残った場合、細菌・真菌感染などで角膜が薄くなったり混濁が残ったりした場合に角膜移植が必要になります。

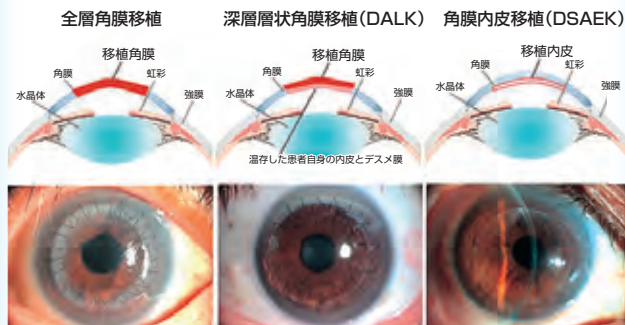
円錐角膜



思春期に好発する角膜変性疾患で角膜中央部が薄くなり、前方に突出します。高度に進行しコンタクトレンズでは矯正視力が十分にでない、突出部に混濁が生じた場合に角膜移植が適応となります。

治療について

角膜移植の種類



全層角膜移植

角膜の混濁が強く内皮細胞も弱っている場合、角膜全層を切除しドナー角膜を移植します。最も基本的な方法で手技も安定しています。

表層層状角膜移植・深層層状角膜移植

内皮細胞の機能が残っている場合、濁った表層部分のみを切除しドナー角膜を移植します。内皮型拒絶反応の心配がありません。やや手技が難しく、手術中全層角膜移植に変更する場合があります。

角膜内皮移植

水疱性角膜症では内皮細胞のみが必要であり、角膜周辺部に開けた数ミリの切開創から内側の内皮層のみを取り除き、ドナー角膜を移植します。この数年前に開発された方法で角膜移植後の高度の乱視を防止でき、手術後早期から良好な視力が得られることがあります。

兵庫県臓器移植コーディネーターの 役割と連携

兵庫県臓器移植コーディネーター
今村 友紀



みなさまは臓器移植コーディネーターという職業をご存知でしょうか。一言でいうと、臓器を「提供したい人」と「移植を受けたい人」を繋ぐ架け橋の役割です。

救命が困難と診断された患者様やそのご家族にとって、最期に取りうる選択肢の一つに臓器提供があります。ご家族は「本人は優しい人だったから」「体の一部で良いので生きていて欲しい」という思いから臓器提供を承諾されています。コーディネーターは決して臓器提供を勧めることはありません。ご家族と一緒に悩みながら、どの選択がその人らしさや家族の思いを最大限かなえられるのかを考えていきます。臓器提供を承諾されるという決断をされた場合には、臓器の摘出手術や移植施設へ臓器を搬送するための調整をし、提供後には移植を受けられた方の様子をご家族へお伝えするというように意思決定の段階から提供後、長きにわたるまでご家族に寄り添っています。

このような一連の活動において、兵庫アイバンクとの連携は必須です。2023年10月から神戸大学医学部附属病院に活動拠点をおくことになり、これまで以上に密に連携が取れる体制になりました。人生の最終段階において、ご本人の意思やご家族の思いを最大限叶えるための体制を日々模索しているところです。そして、コーディネーターにとって普及啓発も大切な業務です。教育機関などで出前授



業を行ったり、毎年10月16日に全国のシンボルをグリーンにライトアップするキャンペーンを行ったりしています。

最後に、我が国の臓器提供の現状は2023年に過去最高の臓器提供者数となり、脳死下臓器提供は累計1000例を超えました。それでもなお、世界各国と比べると臓器提供者数は圧倒的に少なく、国内で移植を受けられるのは4%のキセキと言われています。この文章を読んでもいただいたみなさまには、「提供する・提供しない」に関わらず、ご家族で臓器提供について話し合っていたいただきたいと思います。

グリーンリボン キャンペーン



姫路城(姫路市)



MOSAIC大観覧車(神戸市)

緑内障手術における提供強膜の 使用について

神戸大学大学院医学研究科外科系
眼科学分野助教

坂本 麻里



「緑内障」は日本人の失明原因の第一位を占める重要な病気です。病気の進行とともに視野が狭くなっていきますが、現在の医学では、一度失われた視野を回復させることはできません。緑内障は、眼圧（眼の硬さ）が低い方が進行しにくいことが分かっているため、点眼やレーザー、手術によって眼圧を下げ、病気の進行を少しでも遅らせる、ということが唯一の治療法です。

眼の中には、「房水」というお水が流れており、房水の循環によって眼圧が正常に保たれます。緑内障の方には、この房水の循環に異常があって房水が眼の中にたまり、眼圧が上がってしまう方がいます（眼圧が高いタイプの緑内障）。一方で、日本人には眼圧が正常範囲内であるにも関わらず緑内障が進行する（正常眼圧緑内障）方が多いことも分かっています。正常眼圧緑内障の方であっても、その方の普段の眼圧よりもさらに眼圧を下げることで、病気の進行が抑えられることが分かっていますので、どのタイプの緑内障であっても、治療は眼圧を下げることです。

緑内障の手術の一つに、「インプラント手術」があります。インプラントはチューブとプレートから成っており、チューブは眼内に挿入し、プレートを白目の奥に縫着します。房水はチューブを通してプレートのある眼外に排出され、眼圧が下がる、という手術です。本手術には、術後時間が経

事務局長兼コーディネーター

渡邊 和誉



アイバンク事業について日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。眼球提供という尊い行為により、移植医療のつながりを日々実感しながら活動しております。現在当アイバンクに専従しているコーディネーターは2名で対応している状況であります。提供の意思を汲む活動が滞らないよう兵庫県臓器移植コーディネーターや組織移植コーディネーターらと協力、連携し活動しております。

我々アイバンクの活動の根源は、移植医療に対するご理解があり、次の医療に繋げてもよいとされうる方への「いのちのリレー」をさせていただく事であります。移植医療により光を取り戻される方、視力を維持し生活の改善に結びつかれる方のご報告を頂けることが何物にも代えがたい財産であります。そしてこの活動が兵庫県下だけの活動に留まることなく、近隣アイバンク間の連携強化・確立についてもより強靱なものとなるべく進めております。

一人でも多くの方の幸せと光を取り戻すことのできる感動をお届けするため、スタッフ一同、今後も鋭意努力して参ります。また、アイバンク事業がますます発展するためにも事業活動をさらに充実化させていきながら共に成長させていただくことができますよう、今後とも引き続き皆様方のご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023年度 事業報告

2023年度統計

	登録者	献眼者	
2023年 4月	1	0	開設以来累計 (2024年3月末)
5月	0	1	
6月	2	0	
7月	0	1	
8月	3	1	
9月	4	3	
10月	5	1	
11月	5	2	
12月	2	2	
2024年 1月	1	2	
2月	3	0	
3月	2	0	
合計	28	13	登録者 ……………17,545名 献眼者 …………… 505名

献眼者

2023年4月1日から2024年3月31日までの間に、13名の方よりご提供いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたしますと共に、深く感謝申し上げます。

啓発活動・講演会・講習会・学会発表

〈公益事業1〉眼球のあっせん等に関する事業

(1) 献眼する者の募集及び登録に関する事業

- ・登録パンフレットを県内医療機関、関係各所へ配布した。
- ・登録希望者への登録申し込みの受付、登録カードの発行を行った。
- ・定期的に献眼登録者の現況確認と整理を行った。

新規眼球提供登録者数 28人 (昨年度比+8名)

移籍・取消者数 85人 (昨年度比±0名)



(2)提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに関する事業

- ・兵庫県下における医学的ドナー情報が31件（昨年度比+1件）あり、13名（昨年度比-1名）から提供頂いた。
- ・提供眼球（連携アイバンクとの実働含む）に対し医学基準に沿って検査・あっせんを行い、角膜移植術32件（昨年度比-2件）（内：角膜内皮移植術2件（昨年度比-12件）保存角膜3件）、強膜移植術及び緑内障手術に105件（昨年度比+8件）施行された。

（本年度あっせん施設：14施設）

あさざり病院・加古川中央市民病院・かなもり眼科・木村眼科内科病院・慶應義塾大学病院・神戸海星病院・神戸市立神戸アイセンター病院・神戸大学医学部附属病院・スワンカイバナ眼科クリニック・東京歯科大学市川総合病院・はりま姫路総合医療センター・兵庫医科大学病院（50音順）

- ・移植希望者の募集及び登録

移植を希望する医療機関より移植申し込みを受け、移植待機リストを作成した。

(3)献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発事業

- ・神戸大学医学部附属病院院内コーディネーター連絡会議(月1回開催)に参加し、移植医療システムの構築及び啓発活動を行った。
- ・神戸市立医療センター中央市民病院臓器提供対策室会議に参加した。(月1回開催)
- ・兵庫県コーディネーター連携会議に参加した。(月1回開催)
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため京都府立医大アイバンクの指導を行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(一財)奈良県アイバンクの指導を行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(公財)岡山県アイバンクの指導を行った。
- ・神戸大学医学部保健学科生対象の移植管理学の講義「移植コーディネーターの実務」を渡邊が行った。(4月17日)
- ・神戸大学医学部医学科・保健学科生対象の現代医療と生命倫理の講義「移植医療と権利について」を渡邊が行った。(5月9日)
- ・愛の光感謝の集い(京都府)に渡邊が参加した。(5月20日)
- ・兵庫県臓器移植院内コーディネーター研修会に参加した。(5月27日)
- ・神戸徳洲会病院の臓器・組織提供シミュレーションに参加した。(6月19日)



- ・ 広島県院内Co.研修会(Web)に参加した。(7月3日)
- ・ 大阪人間科学大学にて「角膜移植とアイバンク」の講義を中野が行った。(7月19日)
- ・ 厚生労働省角膜移植に関する作業班(Web)に渡邊が参加した。(8月4日)
- ・ 日本組織移植学会(国立循環器病研究センター)に参加した。(8月25日)
- ・ 日本組織移植学会コーディネーター合同セミナー(国立循環器病研究センター)に参加した。(8月26日)
- ・ 日本移植学会(京都)に渡邊が参加した。(9月21~23日)
- ・ 兵庫県臓器提供懇話会(Web)に出席した。(9月29日)
- ・ 日本臨床眼科学会(東京)に渡邊がモーニングセミナーパネリスト、アイバンクセミナー講師として参加した。(10月6~7日)
- ・ 神戸総合医療専門学校にて「角膜移植とアイバンク」の講義を中野が行った。(10月10日)
- ・ 岡山県いのちのリレー勉強会(Web)に参加した。(10月14日)
- ・ 厚生労働省角膜移植に関する作業班(Web)に渡邊が参加した。(10月26日)
- ・ ドナーファミリーの集い(東京)に中野が参加した。(10月29日)
- ・ 熊本県移植医療推進財団にてアイバンク活動について渡邊が講演した。(11月13日)
- ・ 日本臨床神経生理学会(福岡)にて渡邊が参加発表した。(12月1日)
- ・ 神戸大学医学部附属病院移植医療フォーラムに参加した。(1月12日)
- ・ 神戸大学医学部附属病院にて手術室シミュレーションに参加した。(2月1日)
- ・ 公益財団法人日本アイバンク協会全国連絡協議会(東京)に渡邊が出席した。(2月2日)
- ・ 日本組織移植学会コーディネーター合同セミナーに出席した。(1月29・30日)
- ・ 角膜カンファランス2024(東京)において片上理事長・平松副理事長・渡邊・中野が参加した。(2月8日~10日)
- ・ 北播磨総合医療センターにて「ACPとアイバンクについて」で講演した。(2月20日)
- ・ 沖縄県アイバンク協会にてアイバンク活動について渡邊が講演した。(2月29日~3月1日)



〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)機関誌の発行事業

- ・原稿を各所に依頼し、「クラーリヒト」を11月に発刊した。

(2)眼の衛生に関する啓発事業

- ・兵庫県いなみ野学園にて「目の健康」について平松副理事長が講演した。(4月18日)
- ・セレモニーホールけやきにて「アイバンク」について渡邊が講演した。(6月17日)
- ・ライオンズクラブ国際協会335-D地区 GST・視聴覚合同セミナーに片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(8月17日)
- ・姫路薬剤師会にて「学童の視力低下と色覚異常並びに角膜移植と兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(8月17日)
- ・兵庫県いなみ野特別支援学校にて「子供の視力低下とその予防策並びに兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(8月24日)
- ・兵庫県立農業高等学校にて「学童の視力低下と色覚異常並びに角膜移植と兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(8月31日)
- ・たつの赤とんぼライオンズクラブにて「角膜移植とアイバンクの現況」について片上理事長が講演し、平松副理事長が出席した。(1月23日)
- ・加古川中央ライオンズクラブにて「兵庫アイバンクについて」平松副理事長が講演した。(2月9日)
- ・明石薬剤師会にて「VDT作業者の眼精疲労並びに学童の近視と色覚異常追補角膜移植と兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(2月22日)

〈その他〉

- ・定款に従い理事会・評議員会を開催し、企画立案・実施をした。
- ・アイバンク事業の拡大と将来性の担保に伴う活動ならびにコーディネーターの養成を積極的に行った。
- ・神戸アイセンター内のアイバンクヒト組織専用ラボにおいて提供眼球の保存・加工業務を遂行した。
- ・京都府立医大アイバンクを筆頭とする近畿圏におけるアイバンク活動の指導並び連携強化について積極的に活動した。
- ・(公財)岡山県アイバンクとの業務連携により移植医療連携が強化された。

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは皆様からの善意やご協力によって事業が行われております。

現在、兵庫県内のみで約400人の方が角膜移植を必要としているといわれ、事業の運営を円滑に行うためには皆様方の多大なるご支援が必要です。

皆様方に広くご協力を賜り、一人でも多くの方が一日でも早く社会復帰されることを願っております。

賛助会員にご賛同くださる方は会員規約および入会申込書をお送りさせて頂きますので、事務局までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

兵庫アイバンク TEL 078-382-6046

賛助年会費

団体会員	1口	10,000円
個人会員	1口	3,000円

兵庫アイバンクでは、広く関係方面からの事業活動へのご支援を頂くための賛助会員制度を設けています。

当アイバンクの事業目的に賛同される企業、団体等の法人・個人の方は、年会費を納入されることにより、賛助会員となります。

団体

お名前の表示について直近のお振込時にご承諾頂いた方を掲載しております。
(敬称略 入会順)

川西ライオンズクラブ
三田ライオンズクラブ
尼崎ライオンズクラブ
なかお眼科(中尾寛先生)
芦屋東ライオンズクラブ
阪神道路開発株式会社
大屋ライオンズクラブ

株式会社 外林ウエルネスサポート
バイエル薬品株式会社
明石セントラルライオンズクラブ
稲美ライオンズクラブ
兵庫県眼鏡専門小売協同組合
株式会社モリア・ジャパン

個人

杉山	治代	土肥	富幸	財家	美鳥	新川	園子	片岡	敏樹
山村	登三	長川	嗣幸	市橋	夫紀	藤伊	子三	岡澤	恵子
野瀬	聖三	前川	昌佳	加納	秀樹	澤神	博美	吉林	繁子
瀬戸	尚子	高島	邦俊	森小	榮枝	朝倉	正平	小岡	淳子
長田	静彦	吉田	弘美	西小	明登	島津	和子	堀井	得次
竹内	徳登	垣谷	珠美	小林	久子	本斗	数廣	山根	茂彦
廣橋	岳和	石橋	喜久	茂木	英行	久牧	弓絃	水谷	恭一人
廣橋	和昭	武中西	邦好	吉田	征一	坂保	妙美	春木	陵和
下田	昭洋	中野	雅一	梶谷	郁雄	田本	眞美	山本	志子
上村	秀樹	中谷	治雄	柳川	芳裕	岩藤	美子	横山	美津
村瀬	奈子	船岡	康子	田中	睦子	清水	路子	繁田	知宏
岸田	久夫	岡田	和子	竹内	清子	藤田	尚子	糟谷	亜紀
小林	明	藤田	一夫	川村	素子	古林	晴臣	河合	美和
東川		財家						匿名	希望の方

寄附者

(2023年4月1日～2024年3月31日まで)

眼科・診療所

(敬称略 五十音順)

諸先生方には、ご支援、募金箱設置にご協力をいただき、また、患者様より真心の募金を賜り深く感謝申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

明石同仁病院	木下病院 木下香代子	いしむら眼科皮膚科クリニック 西村雅史	みどりの眼科クリニック 木戸啓文
浅井眼科医院 浅井利通	木村眼科 木村良平	広野高原病院	宮代眼科 宮代美樹
芦田眼科 蘆田容子	木村眼科医院 木村稔	平林眼科クリニック 平林宏章	むらた眼科 村田吉弘
あだち眼科 安達功	新神戸ひろせ眼科 広瀬文隆	福井クリニック眼科 福井きよか	森眼科 森健司
いのうえ眼科 井上祐介	高井眼科 高井勝史	藤井眼科 藤井啓誠	森井眼科クリニック 森井香織
今泉眼科 今泉正徳	たき眼科 滝純	藤澤眼科医院 藤澤直子	山名眼科医院 山名敬庸
うえむら眼科クリニック 植村明嘉	辰巳内科・眼科 辰巳康子	藤永眼科 藤永博	山本眼科医院 山本成章
うぐいす眼科 荒木敬士	田中眼科医院 田中佳秋	ふじわら眼科 藤原由延	山本眼科 山本正朗
おおすぎ眼科 大杉秀治	谷眼科医院 谷恵美子	宝青院眼科医院 小田豪	横山眼科クリニック 吉積祐起
おおはら眼科クリニック 大原在元	田村眼科 田村泰	ほそだ眼科 細田祥勝	渡部眼科 渡部暁也
長田眼科医院 長田温	綱島会厚生病院 綱島治子	前田眼科 前田圭子	匿名希望の方
かごたに眼科 籠谷保明	内藤医院 木村智子	松田アイクリニック 松田聡	
金井眼科 金井清和	ないとう眼科 内藤公子	松葉眼科医院 松葉沙織	
眼科いのうえクリニック 井上正則	なかにし眼科クリニック 中西頼子	真星病院 大石麻利子	
眼科クリニック田岡 田岡信明	中村眼科医院 中村貞彦	溝上眼科 溝上淳二	

寄附者

(2023年4月1日～2024年3月31日まで)

団体・一般

(敬称略 五十音順)

ご支援賜りました方々に厚く御礼申し上げますとともにご芳名を掲載させていただきます。

秋山美貴子	大寺壽生	クーパージョーン(株)	清水敏男
安倍朱美	大平歌子	久保八重子	白石美央子
荒井修	大西和子	久保正敏	千寿製薬(株)
荒井泰史	岡林治子	(株)ガイ電工 熊谷朋宏	副島囙義
荒井俊朗	沖野雅一	熊野公子	高木重介
碓千恵	奥村繫夫	黒岩良夫	高野文男
池上由規	小野光江	黒田久美子	瀧川秀樹
池田奈美子	香川泰子	河野医科器械(株)	竹谷トキヨ
石橋直子	加古川ライオンズクラブ	神戸市眼科医会	高田良子
石丸たつ子	片上千加子	株式会社 コカゾ技研	多田博子
一隅運動極楽寺支部	角石りつ子	小島雅恵	田中智子
市橋紀夫	加藤修子	小谷定子	田中維子
伊藤信夫	加納秀樹	小西信男	谷口與志朗
井上明	株式会社 けやき	小林キクノ	田野敬伊子
井下祥子	河合美和	小林肇	田野卓也
今西正弘	菅由美	小林英夫	田村甫
今山朝枝	川手明美	坂上清子	中外製薬(株)
岩國美貴子	関西情報サービス(株)	坂本慶子	辻村かずみ
岩本洋文	菊山定治	坂本博	寺東徳子
上寺晃子	岸本泉	佐々木正	殿村時加子
上山治子	岸本智明	佐多京子	富田竹治
後谷知世子	岸本靖子	澤下一	中井友枝
臼田幸子	木谷峰子	三田ライオンズクラブ	中井章博
大井カズ子	北村忠司	参天製薬(株)	永恵賢哲
大垣節子	木村さゆり	篠崎ひろこ	なかお眼科
太田京子	久斗数廣	渋谷孝子	仲里朝之
太田久之	絹川一郎	柴田みどり	中島かおり
大庫泉	京谷安子	島田昌子	中路均

中田和美	船岡康子	村上七生
中西よし子	古川道子	村瀬早苗
中野正子	堀尾恵子	村原圭伊子
西尾照代	堀保彦	(株)モリアジャパン
西川正博	H O Y A (株)	森本克幸
西畑邦子	前川佳幸	森本芙紗子
仁禮丞二	正垣裕加子	森原爽子
野原きみ彖	正木美弥子	保田妙子
橋本紀子	榭井重信	山岸陽子
長谷川豊秋	増本盛美	山中時栄
長谷川雅夫	松崎裕行	山田末廣
秦勝次郎	松田和美	山根茂彦
服部二郎	松田喜代司	雪岡恵津子
花田敦子	松田仁清	横見ルリ子
早川弥弘	松田由佳	吉田耕一
濱田基史	松本一郎	ロートニッテン(株)
春名利盈	松本正義	若林節子
春名令子	松本米子	若松健
廣橋岳登	三木脩	渡辺弥生
平戸ヨウ子	水谷正子	匿名希望の方
平井康董	見野ちよの	
深津賢一	宮崎茂雄	
福田恵太	宮本摩耶子	
藤本まり	三好陽子	
藤本峯子	村上潔	

当アイバンクは、2021年度に内閣府賞勲局より、公益のために私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄附者様のご意向を確認の上、当アイバンクから内閣府に申請いたします。

●詳しくは、こちらまで

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp/support/ribbon>



登録について

- ・眼球（角膜）のご提供に**年齢制限はありません**。
- ・**近視、遠視、白内障、緑内障**の方でもご提供いただけます。
- ・登録していただく際に、**検査**などは一切必要ありません。

登録の手順

1. お電話またはメール (info@hyogo-eyebank.or.jp)でお名前ご住所等をお知らせ下さい。眼球提供申込書を送らせて頂きます。



2. お手元に届いた**眼球提供申込書**に必要事項をご記入の上、アイバンクまでご返送下さい。(近親者の欄の記入もお忘れなく)



3. 登録が完了いたしましたら登録カードを送らせて頂きます。財布などに入れて常時ご携帯ください。



* 登録の際に頂いた個人情報**は厳重に管理させていただいており、アイバンク活動以外の目的に使用することはございません。**

万一ご不幸があった時、眼球提供の事を思い出すことは難しいものです。

ご登録いただいている方でもご家族のご理解とご協力が必要です。

登録の際、よくご家族とお話いただき、お互いのご意志をお話してください。

万一ご不幸があった場合には

登録がなくてもご本人の意志・ご家族の承諾により
ご提供いただけます。



1. 万一ご不幸があった場合に、献眼を希望される場合はドナーホットライン

年中 無休で アイをアイを
0120-69-1010 にご連絡ください

年中無休で24時間コーディネーターが
対応させていただきます。



2. コーディネーターがご提供についてのご説明に伺います。

- * 説明をお聞きになり、提供を辞退されても全く問題ございません。
- * 摘出手術が始まるまではいつでも中止することができます。



3. 提供を承諾された場合は眼球提供・採血承諾書を作成し、眼球を提供していただけます。

摘出後は義眼を挿入するのでお顔は提供前とほとんど変わりません。



4. ご提供いただいた角膜による移植手術が行われます。

アイバンクのホームページにもアイバンクの情報、角膜移植医による目のお話など様々な情報を掲載させていただいております。是非一度ご覧頂き、ご活用下さい。

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp>



2024年度 公益財団法人兵庫アイバンク役員

● 顧問 ●

齋藤 元彦
(兵庫県知事)

久元 喜造
(神戸市長)

高橋 政代
(株)ビジョンケア
代表取締役

藤堂 勝巳
(公財)兵庫アイバンク
元理事長

● 理事 ●

理事長

片上 千加子

副理事長

平松 邦夫

堀口 清隆

増本 盛美

常務理事

五味 文

中村 誠

理事

今市 明広

北野 砂恵子

田村 雅宏

団 英男

長井 隆行

永田 雅章

野村 めぐみ

畑山 裕子

藤本 久貴

古川 清実

細谷 友雅

● 監事 ●

大石 麻利子

岡田 洋

● 評議員 ●

江草 長史

三宮 秀介

高野 文男

廣田 晃一

福田 惠太

三浦 淳子

溝上 淳二

迎山 しほ

椋野 洋和

森本 克幸

(理事・監事・評議員 役職別五十音順 敬称略)

表題

「クラーリヒト」は
「透明な光」という意味で、
この「透明な光」を取り戻していただきたい
との願いをこめてつけられました。



.....
公益財団法人兵庫アイバンクだより
「クラーリヒト」
No.28

発行 2024年12月
発行所 公益財団法人 兵庫アイバンク
.....

設立協力団体

兵 庫 県

神 戸 市

ライオンズクラブ国際協会
335-A地区

ライオンズクラブ国際協会
335-D地区

兵庫県眼科医会

公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クラーリヒト

献眼連絡先

 **0120-69-1010**

〈年中無休・24時間受付〉

公益財団法人 **兵庫アイバンク**

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部付属病院内

TEL 078-382-6046 FAX 078-382-6723

E-mail: info@hyogo-eyebank.or.jp

